

強く
気高い
女

成人向
コミック

CRIMSON COMICS



すでに聞いている
とは思うが

また新たに
我ら秘密結社に
南クロノス向かおうとしている
組織を確認しておる

アターカー地区に
その拠点がある
という情報が入った

No. 1よ
そなたにその施設の
潜入捜査の
役目を与える

決して
秘密結社の手の者と
悟られぬよう
調査してくるのだぞ


よいな



小型無線機で
指示を出す

全て
私の指示通りに
動くのだ

よいな



…お前の
おまじない…

強く気高い女

作 / クリムゾン



聞こえるか
No. 1




今回の任務…

私一人で
調査だなんて

よほど困難な
任務なのでしょうか…


まずは
その車内にいる
人物を
すべて観察し

顔を覚えるんだ



私の指示があるまで
何があっても
自分から動いては
ならぬ

声を出したり
目立つ行動を
しては
ならぬぞ



車内すべての
人物を覚える…
か…



…の中…

重要人物が
いるという
ことですね…

早く
覚えないと…

さめ



痴漢……!!

こんな時に……!

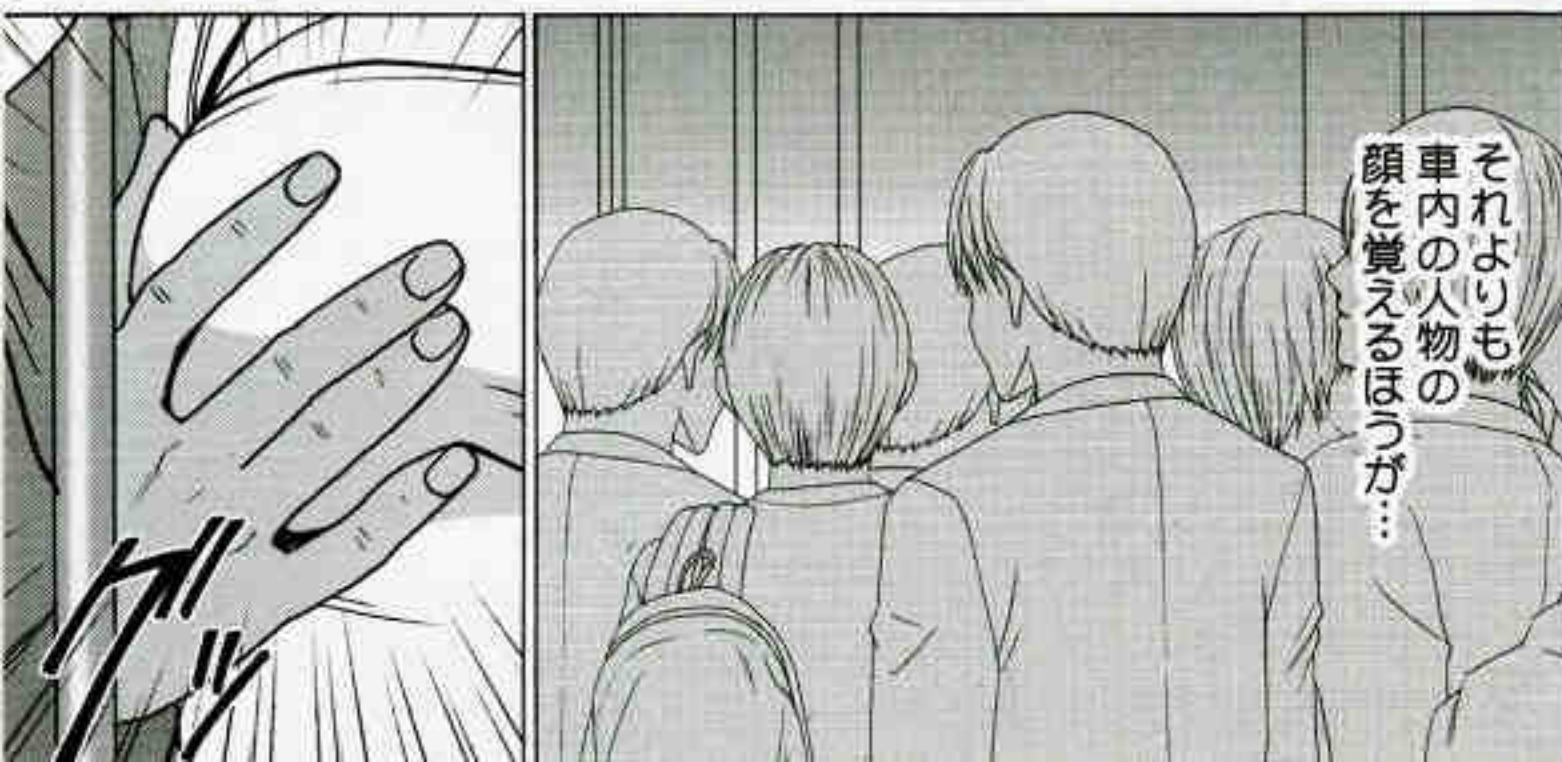
さわさわ

いなり……!
これは……!



仕方ない……

おとなしく融かして
おくしかな……



それよりも
車内の人物の
顔を覚えるほうが……



な…なんて大胆な…



おちたのうたは…

(このお姉)
好きなのうたは…
わけには…!!



もう一度言っておくが
絶対に自分から
行動を起こしては
ならぬ

ドキッ



たどえ何が
起ころうとも
ただ静かに
じっと立ちつくし

…!!

車内の人物の
顔を覚えることだけに
集中せよ



それよりも早く車内の人物の……



しかたない……

ここは長きの指示を待つしか……



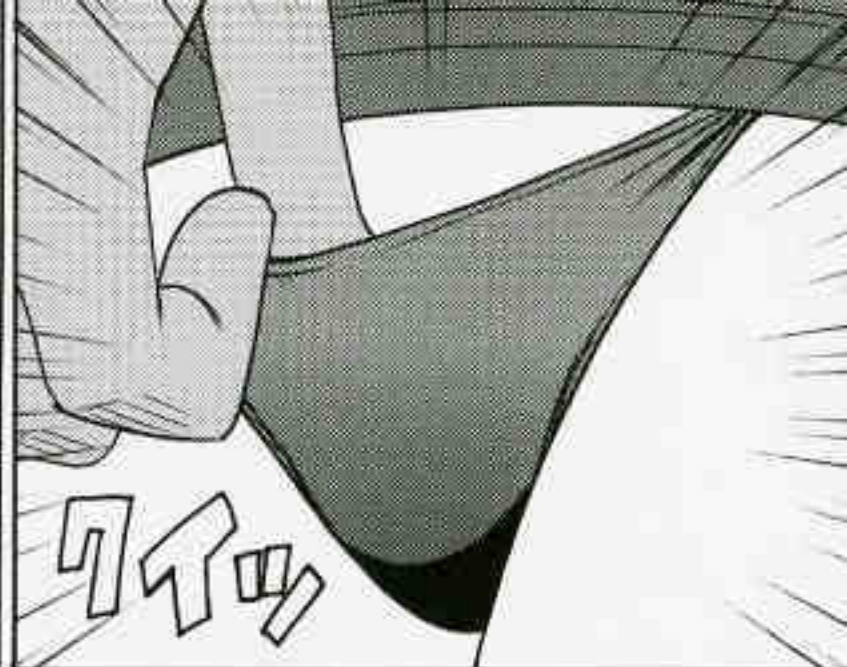
スツ



……!

ドキッ



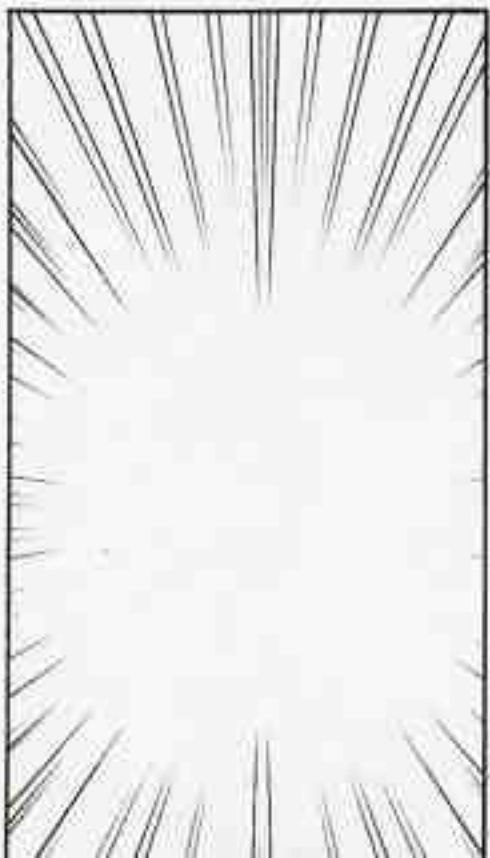


クイッ



おまがにうごかすだけは……

阻止しないと……!



し……信じられない!

電車の中なの……!

ばっ





どうした？
今何か声が
聞こえてきたが…

もう一度
言っておくが…

決して自分から
行動を起こしては
ならぬ

よいな



まだ1/3も
覚えていない…！



こんな痴漢に
かまっているヒマなど…



私は任務を
こなさなければ…！

そっか…

こんな痴漢にかまっているヒマなど…

ないとこのお尻…!

もぞもぞ

もぞもぞ





恥部への
侵入さえ防げば
なんとか...

グッ
グッ



大丈夫...!!
このくらいなら
耐えられる...!!



!!!

ド
キッ
キッ

バ
ッ
ッ



さあ...
さあ...
さあ...
さあ...

グ
グ
グ



三人...?
三人...?

三人...?
三人...?



か...
困
ま
れ
た...!!

!!
!!
!!

グ
グ
グ

グ
グ
グ

さ
や
さ
や

このままでは
まっか……!

ふるふる

長老……!
早く指示を……!

このまま
抵抗できなければ
アツコが……!

指示を……!

グイッ

フル

ダメだ……!

……

ダメ……なんは……!

グチュ



グキョ
ユ思考能力が
保てない……!

グキョ



グキョ

まだ全然
車内の人物の
顔を覚えて
いないのに……!

グキョ



グキョ
ツッ



ガッ

……ツッ!

ガッ

ガッ

ガッ

ドキッ

しまった!
いつのまに…?

私としたことが…!



どうかしたか
No. 1?

順調に
記憶は進んで
いるのか?

まだ何も
自分から行動
してはならぬぞ

何か起こっても
指示があるまでは
じっとして
いるのだ

お前は
目と脳だけ
動かしていればいい

こんな状態なのに何も
させてもらえないなんて…

これではまるで
私に犯されると言っているかのような…





わたしの力不足……!!

クッ

んッ……

いや……
長老を疑っては
いけない!

クッ



長老の指示は

絶対……!!

クッ

たとえ
どんな目に遭おうとも……

クッ



こちらからは
手を離さず...

服も離さず...

すべての乗客の
顔を記憶する...!!

クロンスの
ノン・リム

必ず
やり遂げ
なければ
:!!



.....ツツ!

刺激が強すぎて...
記憶が飛んでしまう...!



早く...

早く
覚えて...



ダメだ...!

やっぱり...!

あと一駅で
到着するぞ

それまでに
全員
覚えるんだ



体の力が……





そんな……!

痴漢に
感じさせ
られて……

膝をつく
なんて……

そんな
ことが……!

もう駄目……!!

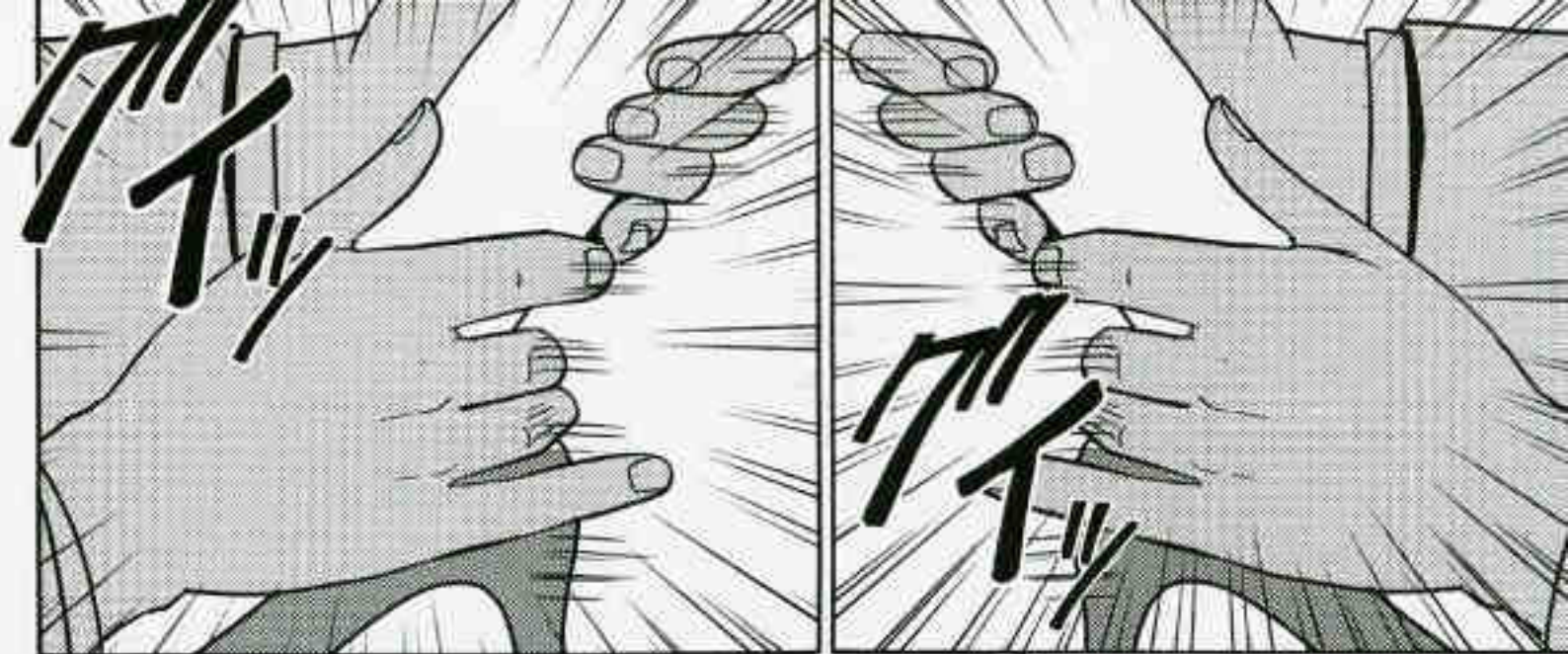
!!

!!

!!

どうしたらいいのかわからない……!!







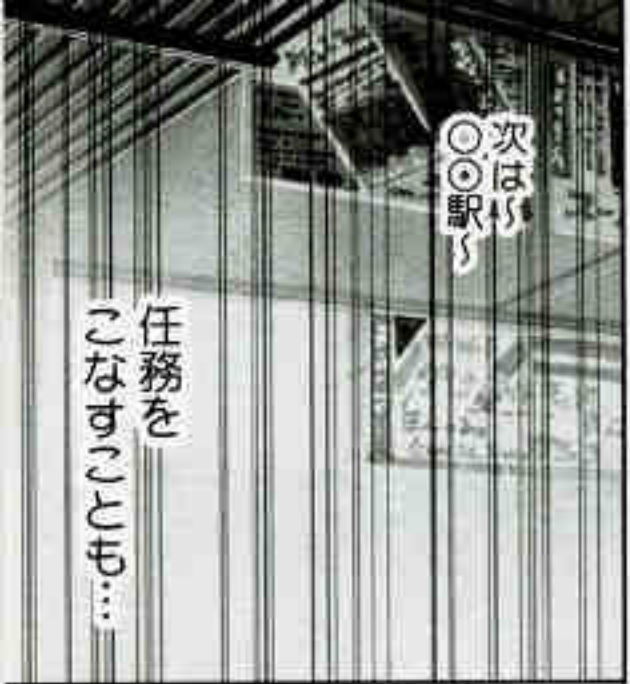


すべての乗客の顔は記憶できたか?

どっか?
No. 1

グキョグキョ
グキョグキョ
グキョグキョ

グキョグキョ
グキョグキョ



次は
駅

任務を
こなすことも…



逃げることも

もう何もかも…



快感を…

ガマンする
ことさえも…



駄目だ…!!

もう何もかも…

ああ
ああ
ああ
ああ
!





あとがき

この作品は一応 フライドの高い女の続編に
なっていますが、
まったく独立した作品と考えてもらっても
問題ありません。

内容としてはJ-Girl. TRAIN2に出る
セフィリアと似ていますが
こういう内容（気高い女性が上司の命令でいやらしい目にあう）
は気に入っているので 漫画としてリメイクしました。

次回予告にもあったように続編は描きます。
次回は一人の中年男にネチネチとセクハラされるモノと
その後場所を変えて拘束しての変態プレイを予定しています。

いずれも 引き続き長老の指示によって抵抗できないというシチュエーションです。
1巻でまとめるか 2巻分になるかはまだ未定です。
1巻にまとめるとしたら結構長いページ数のものになるでしょう。

最近 フルカラー本ばかりだったので
白黒は久しぶりですね。
やはり白黒には白黒ならではの良さがありますね。
スピード感も白黒のほうが出しやすいかもしれませんね。

またたまに白黒の本も出していこうかと思えます。





次回予告

なんとか目的の場所に到着したセフィリア。しかしそこで
またセクハラを受けることに…。
長老の命令で拒絶できないセフィリアは男の膝の上で悶え苦しむ。



初刷 2007年11月12日 発行

「クリムゾン」PRESENTS

強く気高い女

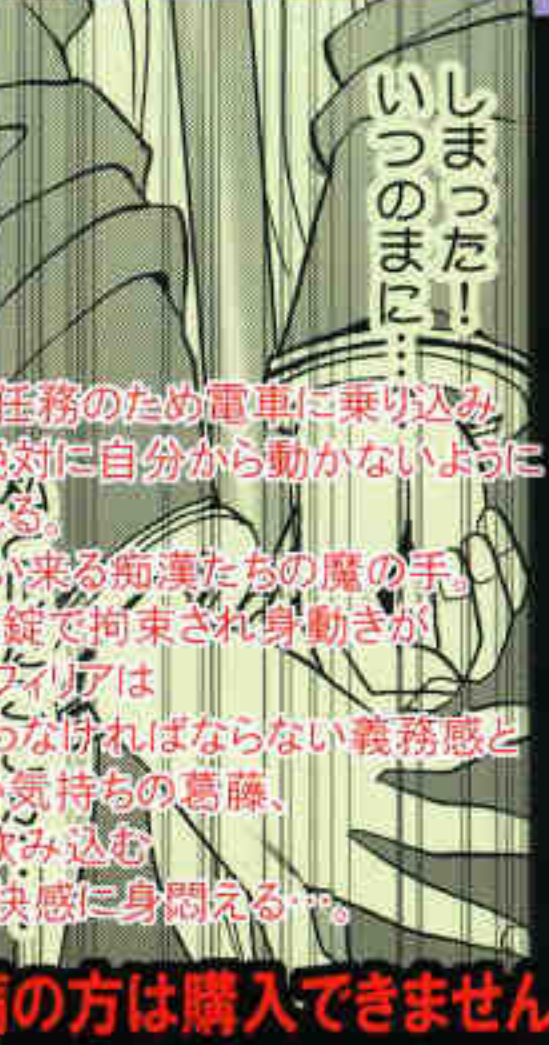
<http://www.alles.or.jp/~uir>

印刷 大陽出版株式会社さま



この本をご購入していただきありがとうございました。
ネットなどに転載をしないよう どうかよろしくおねがいします。

これではまるで… 私に犯されろと言っているかのような…



セフィリアはとある任務のため電車に乗り込み何をされようとも絶対に自分から動かないように長老から指示される。しかし無情にも襲い来る痴漢たちの魔の手。電車の手すりに手錠で拘束され身動きが取れなくなったセフィリアは長老の指示に従わなければならない義務感と痴漢から逃れたい気持ちの葛藤、そしてそれさえも飲み込む体が焼けるような快感に身悶える…。

●18歳未満の方は購入できません